

LP 出資によるインド・東南アジアにおける ICT 事業等展開の支援を決定

株式会社 海外通信・放送・郵便事業支援機構（以下「JICT」）（東京都千代田区、代表取締役社長：大島 周）は BEENEXT Capital Management. Pte. Ltd.（以下「BEENEXT」）（シンガポール、代表：佐藤輝英）をファンドマネージャーとするファンド「BEENEXT ASIA FUND2」にリミテッドパートナー（以下「LP」）として出資を行うことを決定しました。なお、JICT は、本ファンドに対して最大 2.8 百万米ドルの出資を行うことについて、9 月 30 日に総務大臣の認可を得ております。

今回 JICT が LP 出資をする BEENEXT ASIA FUND2 はインド及び東南アジアを主な対象地域として、現地に存在する独自の社会課題をインターネット、テクノロジーの力で解決し、地域のインフラとなりうる事業（マーケットプレイス、フィンテック、データ、SaaS、ヘルスケア、アグリテック他）にフォーカスして投資を行うファンドです。

BEENEXT は 2015 年の設立以降、「起業家の、起業家による、起業家のためのパートナーシップ」をコンセプトに、これまでにインド・東南アジアの新興国を中心に 300 社以上への投資実績を有しています。また、パートナーメンバーのこれまでの世界各国での起業経験を活かして世界中の次世代 IT 起業家をサポートし、資金提供のみならず世界に広がる豊富なネットワークや他国での最新事例共有等を通じて、起業家に寄り添い、投資先スタートアップ企業へのハンズオン支援を行っています。

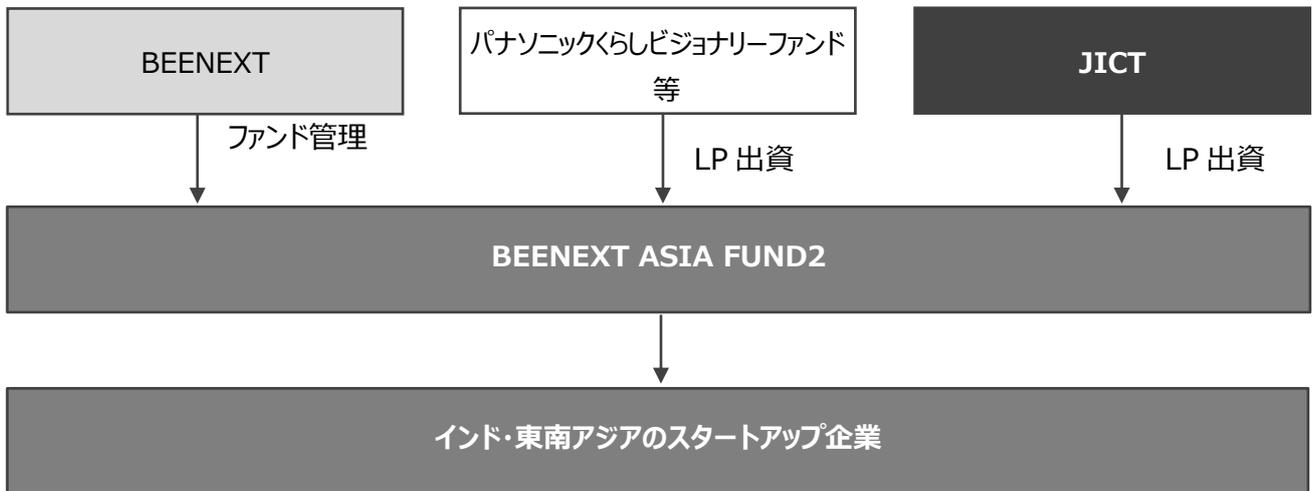
BEENEXT ASIA FUND2 への参画にあたって、JICT は、参画によるファンドの信頼性向上や、中立的立場から他 LP 投資家と投資先企業の協業支援を実施すること等により、ファンドの価値向上に貢献致します。さらに、官民ファンドとして、JICT が BEENEXT ASIA FUND2 への投資で得た情報・知見を幅広く還元することにより、将来の日本事業者によるインド・東南アジア地域での事業展開への貢献も目指してまいります。

【JICT の支援決定の概要】

- 1 対象事業 : LP 出資によるインド・東南アジアにおける ICT 事業等展開支援
- 2 対象国 : インド・東南アジア
- 3 JICT 支援決定額 : 最大 2.8 百万米ドル
- 4 投資実行時期 : 2025 年 1 月

なお、BEENEXT ASIA FUND2 には、パナソニック株式会社と SBI インベストメント株式会社とで共同運用するコーポレートベンチャーキャピタルファンドであるパナソニックくらしビジョナリーファンドを始め、日本企業等からも出資をしております。

【事業イメージ及び投資スキーム】



LP : Limited Partner

海外通信・放送・郵便事業支援機構（JICT）について

JICT は 2015 年 11 月に、通信・放送・郵便事業分野において、リスクマネーの供給等を通じて日本の事業者の方々の海外展開を支援するために、法律に基づき設立された会社です。JICT は、投資、技術、経営等で多様な経験をもつ民間人材で運営されております。JICT は引き続き、さまざまな案件を通じて日本の事業者の方々の通信・放送・郵便分野における海外事業展開を支援してまいります。

BEENEXT について

BEENEXT は 2015 年にシンガポールを拠点として設立されたファンド運営会社です。インドや東南アジア等、新興国のインターネット企業への投資を進め、グローバルな起業家ネットワークを構築しています。各企業の起業家に対しては、BEENEXT のコミュニティへの参加促進ならびにコミュニケーションの場を提供することにより、国境・市場・そして事業ステージを超えた事業ノウハウや体験を共有する等、資金提供に留まらない支援にてそれぞれの事業の成長に貢献しています。

BEENEXT ASIA FUND2

名称 : BEENEXT ASIA FUND2 LP
ファンド運営開始 : 2023 年 3 月
ファンド管理 : BEENEXT Capital Management. Pte. Ltd.

（問い合わせ先） 株式会社 海外通信・放送・郵便事業支援機構 経営戦略部

TEL : 03-5501-0092

FAX : 03-3593-6770